

学校だより 6月号

平成 28 年 6 月 1 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

子どもたちに達成感を味わわせることで、意欲的な活動を！ ～鴻巣市小学校球技大会Eブロック大会から～

校長 渡辺 勝徳

校庭の芝生が緑色になり、暖かくなってきました。家庭訪問ではご多用な中、ありがとうございました。また、先日の運動会ではたくさんの保護者の皆様にご参観いただいたり、熊本・大分地震の義援金への募金にもご協力いただいたり、ありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。運動会では勝敗や順位も大事ですが、その子がいかにがんばったか、いかに一生懸命に取り組んだかが子どもの成長にとっては大切かと思えます。がんばったことをほめていただければと思います。

さて、今回は鴻巣市小学校球技大会（バスケットボール大会）Eブロック大会を観戦して感じたことについて述べたいと思います。

5月13日（金）にコスモスアリーナふきあげにおいて、鴻巣市小学校球技大会Eブロック大会が行われました。各学校とも6年生が出場します。試合はクラス対抗男女混合のリーグ戦で行われ、吹上小3クラス6チーム、小谷小1クラス2チーム、大芦小1クラス2チーム、下忍小2クラス4チームで4ブロックに分かれて行われました。その中で、小谷小チームはBブロックとDブロックに出場し、見事ダブル優勝を果たしました。優勝したことはもちろんうれしかったのですが、子どもたちが目標達成を目指してがんばって、目標が達成でき、達成感が味わえたことがうれしかったと思えました。

ところで、達成感を味わうのは容易なことではありません。そこに至るまでの過程があります。小谷小はこの大会の優勝を目指して、5年生の時から練習を始めました。体育の授業をはじめ、20分の業間休みや昼休み、放課後などに練習を重ねてきました。1か月前からは教員総動員で放課後に練習をやったり、外部の指導者に練習を見ていただいたり、卒業生に試合の相手になってもらったりもしました。練習をしてふりかえり、さらに練習を重ねるということをしてきました。そこには子どもたちの頑張りがありました。壮行会で全校児童に応援されて迎えた当日、コート内を全力疾走する子どもたちの姿がありました。決してあきらめずに粘り強くボールに向かっていく姿に感動しました。各自がオフェンスとディフェンスを自覚して役目を精一杯果たしました。ふと気づくと、アリーナの2階には小谷小保護者らの大応援団が大声援を送っていました。そして、担任、子どもたち、保護者の思いが1つになって試合に勝つことができました。

「やったー」とどの子も心の中で叫んだことと思います。この達成感（やったーという気持ち）が子どもたちにやればできるんだという自信をつけさせ、苦しいことにも立ち向かう力をつけてくれます。また、今回のような経験をすると、容易にクリアできる目標では飽き足らず、より高い目標を設定しようという気持ちになり、その目標をクリアしようとして、結果、能力が伸びていくのです。このことは誰かに聞いて理屈を知っていると、読書をしてわかったようなつもりになっただけでは決して味わえないのです。体験を通してのみ味わうことができるのです。教育には手間ひまがかかるのです。すぐに結果が返ってこないのです。だから少々の失敗をしたからと言ってクヨクヨせず、すぐに結果を求めず、長い目でそして大きな心で子どもの成長を見守る必要があると思えます。

今後も子どもたちが達成感をもってできるような教育活動を先生方とともに創造していきたいと考えています。

試合結果

Bリーグ 小谷1B 28-12 吹上3A
小谷1B 44- 8 吹上2A

Dリーグ 小谷1A 28- 0 下忍1A
小谷1A 44- 8 吹上2B

小谷っ子応援団！（1） 芝生保全会

「手入れが整った芝生の上で運動会をさせてあげたい」そんな思いも込めて小谷小芝生保全会の皆様が5月15日（日）から芝生の手入れを始めていただき、運動会の週には特別に23日（月）にもトラックを中心に芝生を刈り込んでくださいました。おかげで今年も無事に運動会を終えることができました。

芝生保全会は小林洋一会長以下25名います。6人ずつ4班に分けて、福田悟グリーンキーパーを中心にして、5月～10月までの毎週日曜日に作業していただいています。作業は、芝刈り、施肥、散水です。ちなみに芝生の上で運動会を行うメリットとして、①けがが少なくなる、②芝生の上は土に比べて温度が下がるということが言われています。